

大学は地域に どう貢献できるか？

地域活性化のための
大学と地域の新たなパートナーシップを考える

2005年3月30日(水)13:00～16:00 (受付12:30～)

経団連ホール 地下鉄丸の内線大手町駅:A1より徒歩1分
JR東京駅:丸の内北口より徒歩15分

第一部(13:00～14:30)

● 開会挨拶

宇野重昭 (公立大学協会副会長/島根県立大学長)

● 基調報告「大学の地域貢献の現状と課題」

大宮 登氏 (高崎経済大学 地域政策学部長)

濱田大器氏 (三井情報開発(株)総合研究所 副主任研究員)

● 注目事例紹介

渡邊大輔氏 (若者社会活動支援NPO法人DNA代表理事)

郡司剛英氏 (すみだ中小企業センター 産学官連携主査)

第二部(14:35～16:00)

● パネルディスカッション「大学は地域にどう貢献できるか？」

～地域活性化のための大学と地域の新たなパートナーシップを考える～

〔パネリスト〕 加藤幹夫氏 (文部科学省地域づくり支援室長)

(50音順)

木下 齊氏 (株式会社商店街ネットワーク顧問)

郡司剛英氏 (すみだ中小企業センター産学官連携主査)

森 正夫氏 (前愛知県立大学学長)

〔司会〕

大宮 登氏 (高崎経済大学 地域政策学部長)

● 閉会挨拶

長田幹夫 (広域関東圏産業活性化センター 専務理事)



参加無料

共催 公立大学協会、(財)広域関東圏産業活性化センター

後援 総務省、文部科学省、関東経済産業局

お申込・お問合せ 公立大学協会・事務局 TEL(03)3501-3336 FAX(03)3501-3337 jim@kodaikyo.jp